

くれまちす通信



令和8年8月

岐阜聖徳学園大学部内

地域子育て支援センターくれまちす発行

蝉が鳴き、太陽がジリジリ照りつける暑～い夏。酷暑日が記録される暑さに、こまめな水分補給、適切な室温、体調管理、通気性の良い涼しい服選びなど、子どもへの注意に気が休まりません。しばらくこの注意が続きますが、厳しい夏を乗り越えた時にはよりたくましい身体になっているのではと思います。大人も子どもも楽しく元気に過ごしていきましょうね。

くれまちすでは“水遊び”が始まっています。先月は数えるほどの水遊びでしたが、今月はたくさん水と触れあえそうですね。「家では日差しが厳しく場所や準備やらで、なかなか遊ばせてやれないのでうれしいです。」との声が多いです。子どもたちは、チャプチャプ水のヒンヤリ感を楽しんでいるうちに、足はもちろんお腹もびしょ濡れではじける笑顔。頼もしさを感じママも一緒になって楽しんでいます。ジョウロで水を飛ばし喜び子もいて、夏の開放感を味わえます。

遊んだ後は、よく食べてゆっくりお昼寝。健康的な生活リズムが作れますよ。



♥ 水遊び（午前のみ） 8月の予定 8/3, 4, 5, 6, 12, 17, 18, 24, 26, 31



・・・子育て支援講座・・・

●「英語で楽しく遊びましょう」経済情報学部 寶壺貴之先生からお話を聞きました。

幼児期に英語に親しむには、子どもが興味を持ったものをきっかけに、大人と一緒に音を聞く、一緒に言ってみる、一緒にビデオや絵本を見るなどをして楽しむことが大切です。興味がないものをさせようとするとは逆効果。日本語を大切にしながら、英語の発音・音に親しむことと学びました。

●「見る“心”と「動く“心”」経済情報学部 石田 開先生からお話を聞きました。

実験から「お座り」「這い這い」「歩く」の発達段階の乳児は、見ていただけとか失敗（落ちたりこけたり）による恐怖だけで学ぶのではなく、自身で能動的に移動することで、より豊かな視覚情報を得たり、自分自身のバランスを保てる姿勢の範囲を試しています。子ども自身が移動を経験して視覚情報を得ることが大事。子ども自身が試して能動的に学ぶための環境・時間・機会を用意しましょう。

＊親子教室＊ A・Bコースが終了しました。他の親子さんと一緒に遊ぶ中で、子どもの気づきに共感したり、意外な姿に驚いたり、ママと思いを共有しながら身近な物で遊んでいます。成長した我が子の発見の場にもなっています。Cコースは、8月25日から、Dコースは9月29日からの開催です。参加希望はくれまちすHPをご覧ください。



岐阜聖徳学園大学内
地域子育て支援センターくれまちす
TEL：058-278-4170
Fax：058-278-4174
e-mail：kodomo@shotoku.ac.jp

